

**港湾整備特別会計 特定港湾施設工事勘定
平成18年度特別会計財務書類の概要**

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減		前年度	18年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	0	1	0	負債合計	—	—	—
たな卸資産	5	1	△3	< 資産・負債差額の部 >			
その他の資産	0	0	△0	資産・負債差額	6	3	△2
資産合計	6	3	△2	負債及び資産・負債差額合計	6	3	△2

業務費用計算書 (単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
その他の業務費用	0	0	△0
本年度業務費用合計	0	0	△0

資産・負債差額増減計算書 (単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
前年度末資産・負債差額	5	6	1
本年度業務費用合計(A)	△0	△0	0
財源(B)	8	6	△1
自己収入	5	4	△0
他会計からの受入	2	1	△0
無償所管換等	△6	△8	△2
資産評価差額	0	—	△0
本年度末資産・負債差額	6	3	△2
(参考) (A)+(B)	7	5	△1

区分別収支計算書 (単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
業務収支	0	1	0
財務収支	—	—	—
本年度収支 (業務収支+財務収支)	0	1	0
翌年度歳入繰入	0	1	0
本年度末現金・預金残高	0	1	0

港湾整備特別会計 (特定港湾施設工事勘定)

の業務等の概要

1. 設置目的

港湾整備事業で国が施行するものに関する経理を明確にするため設置されたものである。

2. 業務内容

他会計からの受入のほか、港湾管理者負担金等を財源とし、特定港湾施設の整備工事に関する事業等を実施する。

3. 定員数 2,037人

4. 歳入歳出決算の概要

歳入 71 億円(受益者工事費負担金収入 35 億円 他会計より受入等 36 億円)

歳出 59 億円(エネルギー港湾施設工事費 39 億円 鉄鋼港湾施設工事費他 20 億円)

差引 12 億円

主な科目の内容

1. 資産・負債差額増減計算書

本年度業務費用合計と財源との差額 58 億円